

三重自然誌の会情報誌 自然誌だより 総目次

No.149 2026 年 9 月

モズのはやにえ	上田利彦	1
シマリスはいつから御池岳周辺に定着したのか？	ー文献記録の掘り起こしー	
	佐野 明	2-3
池の谷のモリアオガエル 2026	宮島美栄	3-4
赤目四十八滝でアオダイショウによるモモンガの捕獲を目撃		
	清水善吉・大沼弘一	5
櫛田川中流域，4 月中旬の花と虫	篠木善重・井本俊介	6-7
南伊勢町道行竈のハマナツメ群落を訪れて	中野 環	8

No.148 2026 年 6 月

鳥羽市指定天然記念物『坂出のアヤメ池』について	中野 環	1
東員町のアカボシゴマダラとゴマダラチョウ	中西元男	2
ミゾゴイを大紀町と大台町で確認	宮島美栄	3
三重県の海岸に打上げられたヤクシマダカラについて	中野 環	4
アリスイ顛末記	上田利彦	5-6
蜘蛛いろいろーゲボウグモー	塩崎哲哉	6
国道 260 号にもヨシススキが！	山本和彦	7-8
三重県レッドデータブック 2025 刊行	清水善吉	8

No.147 2026 年 3 月

雪中のオオサンショウウオ調査	清水善吉	1
東紀州に出現したジャンボ植物，ヨシススキ(その 5)	山本和彦	2-3
ノスリの落鳥個体回収について	上田利彦	4-5
令和 7 年夏・新鹿海岸でみつけたカニ	上田利彦	5-6
マガキガイの大量打上げ	中野 環	7-8
お知らせ 「三重の植物 2025」を作成しました		
事務局から		

○三県交流フィールドワークのご案内

No.146 2025 年 12 月

三重県内にもオオカミ標本があった	清水善吉	1
秋から先始めるホトケノザとその白花型	河野勝行	2-3
中国産チュウゴクアミガサハゴロモが三重県で大発生		
ーカメムシ目ハゴロモ科の県内産全種の生態画像を添えてー		
	篠木善重	4-5
もしかして三重県最古のヒロクチカノコ？	中野 環	6-7
カクレガニ(ピンノの一種)は宿主(二枚貝)がいなくても生きて行けるか？		
ーコメツキガニとヒメアシハラガニのその後ー	上田利彦	7-8

No.145 2025 年 9 月

保色山（熊野市）に風力発電計画	清水善吉	1
-----------------	------	---

タイワンタケクマバチに刺される！	上田利彦	2
大きな、大きなシロチョウ？	中西元男	3
モンクモバチがゲホウグモを狩る	塩崎哲哉	4-5
カモシカの情報を集めています	清水善吉	5
池の谷のモリアオガエルー2025	宮島美栄	6-7
日本オオサンショウウオの会名張大会のご案内	清水善吉	7
大型テントウムシ2種、河川敷の桑に	篠木善重	8

No.144 2025 年 6 月

春なのに	清水善吉	1
ようこそ三重県産アマオブネガイのファミリーに！	中野 環	2-3
ようこそ三重県産タマキビガイのファミリーに！(その2)	中野 環	3
ニホンジネズミを津市久居一色町で確認	上田利彦	4
南伊勢町のモリアオガエル (その4)	中 優	5
船越大池にトキソウが戻ってきた！	山本和彦	6-7
松阪市での動物情報二題	宮本佳典	8

No.143 2025 年 3 月

瀬峡でヨシススキを刈り取る	清水善吉	1
東紀州に出現したジャンボ植物、ヨシススキ(その4)	山本和彦	2-4
コメツキガニとヒメアシハラガニ	上田利彦	5
ようこそ三重県産タマキビガイのファミリーに！	中野 環	6-7
シジュウカラの巣作り	今堀聖史	7
アサギマダラの餌付け	清水善吉	8

No.142 2024 年 12 月

白色のヒガンバナ	中野 環	1
三重県におけるツキノワグマの盛衰	清水善吉	2-4
リュウキュウサンショウクイー中勢に現れた	今堀聖史	5
えっ、こんな所にパッションフルーツ？キカラスウリじゃないし〜、オオカラスウリがなぜ??	麻生晴子	6-7
三重県産タイワンナツメガイについて	中野 環	7-8
事務局から ○いせきび No.11 を同封		

No.141 2024 年 9 月

川は誰のもの	清水善吉	1
池の谷のモリアオガエルー2024	宮島美栄	2-3
特定外来種アカホシゴマダラ三重県に侵入	中西元男	3
東紀州に出現したジャンボ植物、ヨシススキ(その3)	山本和彦	4-5
モモンガと巣箱とカメラ	清水善吉	6
津市河芸町の外来甲虫とミズアブ(ハエ目)	篠木善重	7
ツキノワグマの痕跡	吉澤映之	8

No.140 2024 年 6 月

オオサンショウウオ雑種，特定外来生物指定	清水善吉	1
見慣れないクローバー明和町に侵入か？	中野 環	2
津市高茶屋のホンドギツネ	秋田勝己	3
タカチホヘビを伊勢市の宮川河原で確認	清水善吉	3
松阪市四郷池湿地管理の状況(5)～イシモチソウは爆発的に増えた	谷口雅仁	4
鈴鹿青少年の森湿地の 25 年	清水善吉	5-8
事務局から		
○三県交流フィールドワーク「奥香肌峡」の実施		

No.139 2024 年 3 月

散らかっているレジ袋と見間違えたオニフスベ	中野 環	1
牧野富太郎の三重県における足跡	中 優	2-4
ノハラノイシノシタは三重県内で分布域を拡げている？	中野 環	4
塩崎哲哉氏のマーキング・アサギマダラ，標識情報・2	中西元男	5
東紀州に出現したジャンボ植物，ヨシススキ(その2)	山本和彦	6-7
神島のシロヘリハンミョウおよび菅島で観察した植物	長谷川好昭	8
事務局から		
○三県交流フィールドワーク「奥香肌峡」のご案内		

No.138 2023 年 1 2 月

可愛いシマリス	清水善吉	1
ヤノネボンテンカ，田中川に咲く	篠木善重	2
宮川上流の特別な谷～其の二(絶滅危惧種オオミネイワヘゴの生育を確認)	宮島美栄	3
キジバトの巣立ちを見守って	今堀聖史	4-5
逃げないニホンカモシカ	長谷川好昭	5
東紀州に出現したジャンボ植物，ヨシススキ(その1)	山本和彦	6-8
事務局より		
○いせきび NO.10 を同封		

No.137 2023 年 9 月

シデコブシの 8 月開花と昆虫	篠木善重	1
アオバズクが 3 羽で営巣	今堀聖史	2-3
南伊勢町のモリアオガエルーその 3	中 優	3
ヤブガラシに訪花する双翅目（ハエ目）	篠木善重	4-5
幻の“夫婦竹”	中野 環	6
実は絶滅していなかった！	山本和彦	7-8

No.136 2023 年 6 月

トノサマガエルの受難	清水善吉	1
アオサギが群れ飛ぶコロニー	今堀聖史	2
池の谷のモリアオガエル産卵状況ー2023 年	宮島美栄	3
サソリガイにしびれた日 ～三重県におけるサソリガイの生息記録～	中野 環	4

南伊勢町のモリアオガエル—その2	中 優	5
ダニによって睾丸が消えた日	清水善吉	6
遙かなる平倉演習林	清水善吉	7
三県交流フィールドワーカー北海道大学和歌山演習林	清水善吉	8

No.135 2023 年 3 月

赤目四十八滝でイシガメとクサガメが交雑	清水善吉	1
チョウジソウの種子は海流でも運ばれるかも？！	山本和彦	2-3
宮川上流域の大熊谷は如何に特別な谷であるか！	宮島美栄	3
カワガラスの巣立ち	今堀聖史	4
フタトゲチマダニの観察	上田利彦	5
電気柵の生物への影響について	上田利彦	6
電子文献の引用についてⅡ—脆弱性と保存管理—	河北 均	7-8
スナメリの観察会参加記	清水善吉	8
事務局から		
○三県交流フィールドワークのご案内		

No.134 2022 年 1 2 月

鹿斥候、現る！	清水善吉	1
熊野市飛鳥町大又のキイハナネコノメは新変種のトツカワハナネコノメでした		
	山本和彦・三谷有幸	2
ニホンヤモリの潜水行動について	上田利彦	3
アオマツムシは減っているか？	中西元男	4-5
シイの実拾い	河北 均	5
キマダラカメムシが我が庭に	篠木善重	6
カルガモのつがい	今堀聖史	7
コラム 『鈴鹿青少年の森湿地整備のお願い』		7
朝の散歩でコウノトリを見た！	中野 環・西岡弘文	8

No.133 2022 年 9 月

トカゲが庭で産卵	清水善吉	1
「ダントバ」を知っていますか	中 優	2
宮川中上流域で数種の希少シダの生育を確認	宮島美栄	3
「巻き」が外れたカタベガイ	中野 環	4-5
アメリカピンクノメイガ発生記録	中西元男	5
三重県に侵入した外来種の直翅類	河北 均	6
あるカイツブリの営巣	上田利彦	7-8
アオサギにおそわれる？	清水善吉	8
事務局から		7-8
○三県合同フィールドワークを実施		

No.132 2022 年 6 月

変形菌（粘菌）との出会い	上田利彦	1
大台町・池ノ谷のモリアオガエル繁殖池	宮島美栄	2
私を足止めするメジロのつがい	今堀聖史	3

アナアキウズは三重県の海岸で普通に見られる種類になるだろうか？

	中野 環	4-5
松阪市の自宅にイチジクヒトリモドキが飛来	富田靖男	5
モリアオガエルの早い産卵の情報	清水善吉	5
種の概念	河北 均	6
キクガシラコウモリがハエ取り紙にかかる	清水善吉	7
事務局から		7-8
○奥香肌峡生物相調査開始		
○鈴鹿青少年の森湿地の地下水調査始まる		
○要望書を提出～鈴鹿青少年の森内湿地の保全に関する要望書 令和4年4月4日～		

No.131 2022年 3月

コブシハバチ～津市久居一色町での記録～	上田利彦	1
三重県におけるアカイガレイシおよびシロイガレイシの記録		
	中野 環	2
冬、海辺で暮らすカルガモの群れ	今堀聖史	3
ジネズミ <i>Crocidura dsinezumi</i> を粘着板で捕獲	清水善吉	3
三重県産シリアゲムシ科 <i>Panrpidae</i> (長翅目) 図譜	篠木善重	4-5
志摩地域に生育するイブキジャコウソウ等の生育現状	長谷川好昭	6
塩崎哲也氏のマーキング・アサギマダラ、標識情報	中西元男	7
今さら聞けないラベルの話・続編	河北 均	8

No.130 2021年 12月

押しよせる野生	清水善吉	1
野生に翻弄さる	上田利彦	2
三重県におけるリュウキュウウノアシおよびハナワレイシの記録		
	中野 環	3
昆虫採集と自然観察会	清水善吉	4-5
ゴホントゲザトウムシ三重県の記録	篠木善重	5
晩秋に抱卵しているキジバト	今堀聖史	6
鈴鹿青少年の森湿地に整備作業 (案内)	事務局	6
環境影響評価書の評価	河北 均	7
三県交流フィールドワーク参加で確認した生きもの	長谷川好昭	8
奥香肌峡生物調査団の結成 ～調べて残そう奥香肌峡～		8

No.129 2021年 9月

アオサギはコウベモグラを洗って食べる	清水善吉	1
ヒバリの仔は隠れ上手ーヒナを安全な草むらへ導いて育てるー		
	今堀聖史	2
三重県におけるキバアマガイの記録	中野 環	3
コブシハバチの被害	篠木善重	4-5
両生・爬虫類の餌となるコオロギ類について	河北 均	6
モグラによると推察されるニホンイシガメ卵の食害について	上田利彦	7
奥香肌峡に風力発電計画	清水善吉	8

No.128 2021 年 6 月

ニホンオオカミ—イラスト—	清水千佳子	1
ニホンオオカミは短足？—表紙イラストの長い解説	清水善吉	2—3
ワッフルのような形状になったカキ ～寫形現象～	中野 環	4
論文報文の表題・著者名に関する問題意識	河北 均	5
三重県におけるキイハナネコノメの新たな産地	山本和彦・三谷有幸	6
コハクオナジマイマイの分布拡大に関する新情報	中 優	7
オクマシダ保護の行動報告	宮島美栄	8

No.127 2021 年 3 月

カルガモとマガモは仲良し	今堀聖史	1
カワラハンミョウの観察記録	大矢正雄	2—3
鈴鹿青少年の森にサッカー場？	清水善吉	3
種の同定における生き物の大きさ	中 優	4—5
ノライヌとノイヌとオオカミ	河北 均	5—6
「三重の貝類」の種数についての一検討	中 優	7—8
要望書を提出		
『三重県指定希少野生動植物種「カワラハンミョウ（昆虫）」の保全に関する質問・要望書』		
『回答』	事務局	7—8

No.126 2020 年 12 月

キクガシラコウモリが棲みつく	清水善吉	1
熊襲襲来	中西元男	2—3
わが家にニホンジネズミ	篠木善重	3
吉崎海岸に流れ着いたオオサンショウウオ	清水善吉 田村香里	4—5
水浴にきたカワラヒワの群れ	今堀聖史	5
コハクオナジマイマイが分布を拡大する要因は？	中野 環	6
県指定希少動植物種の保護増殖について	河北 均	7
鈴鹿青少年の森湿地管理、いろいろ試行中	清水善吉	8

No.125 2020 年 9 月

青山高原のソウシチョウ	今堀聖史	1
松阪市四郷池湿地管理の状況（４）～カワラナデシコを移植してみた～	谷口雅仁	2
コハクオナジマイマイの分布拡大に関する仮設	中 優	3—4
いまさら聞けない混同されやすい用語	河北 均	4
津市久居一色町でフェモラータオオモモブトハムシを確認	上田利彦	5
ようやく手にした三重県産ホソスジウズラタマキビ	中野 環	6
要望書を提出		
『三重県指定希少野生動植物種「カワラハンミョウ（昆虫）」の保全に関する質問・要望書』		
『回答』	事務局	7—8

No.124 2020 年 6 月

やせ細るホオジロの脛	清水善吉	1
ケリの子育て—稲作とともに—	今堀聖史	2

松阪市四郷池湿地管理の状況（3）～新しいRDB種と外来種～

	谷口雅仁	3
里山のノスタルジア	河北 均	4-5
侍谷林道の振り返り咲きサクラは「コヒガン」だった	山本和彦	6
伊勢湾にもいた！ナミノコガイとキュウシュウナミノコガイ	中野優子・中野 環	7-8
●訂正とお詫び● 自然誌だより 123 号	上田利彦	8

No.123 2020 年 3 月

イシカワシタダミ見つけた！ ～三重県では 24 年ぶりの記録～

	中野 環	1
市街地に餌場を見つけたイソヒヨドリ	今堀聖史	2
細分化される小型サンショウウオ類	上田利彦	3
「鳥類によるナナフシ分布拡散説」に伴う三重県の分布について	河北 均	4-5
松阪市四郷池湿地管理の状況（2）～野焼きの功罪～	谷口雅仁	6
オオタカがチュウサギを捕食	清水善吉	7-8
糞，おぬしは何もの！	清水善吉	8

No.122 2019 年 12 月

セイトカシギが八重田池に現る	清水善吉	1
ムラサキガイを食す	篠木善重	2
松阪市四郷池湿地管理の状況（1）～表土剥ぎの有効性～	谷口雅仁	3
アオマツムシの個体数は減少しているのか？	河北 均	4-5
ヨシ原で暮らす狩りの名手・ヨシゴイ	今堀聖史	6
紀北町海野諏訪池の水辺植生の変遷	山本和彦	7-8

No.121 2019 年 9 月

清水千佳子ネイチャー・アート展Ⅶ ～鳥たちと木の実，草の実～		1
ミゾゴイの巣立ち	今堀聖史	2-3
黄色いカタツムリを見たことはありませんか	中 優	3
ムラサキツバメは風まかせ	中西元男	4
八重田池のカメ調査開始ーイシガメ消えたか！？	清水善吉	5
続・野生の動植物はだれのものか？	川北 均	6-7
大紀町阿曾でのフェモラータオオモモブトハムシ死骸採取記録	水口道成	7
三重県におけるウスイロオカチグサの生息記録	中野 環	8

No.120 2019 年 6 月

バイケイソウをすすすシカ	清水善吉	1
アマクサシダとの出会い	篠木善重	2
水を揺らして餌を見つけるイカルチドリ	今堀聖史	3
ソウシチョウの記録若干	清水善吉	4
資料の収集だけでは判らなかったこと	中野 環	5

No.119 2019年 3月

フカフカの土壌じゃなくてゴメンね	麻生晴子	1
みえ生物誌編纂の裏技	中 優	2-3
三重県に分布するカスミサンショウウオの新名称, ヤマトサンショウウオについて(文献紹介)	富田靖男	3
キバネツノトンボの羽化から孵化の観察記録	浅名正昌	4-5
ヒシクイが1か月滞在	今堀聖史	6
大鷹さんのご来宅	清水善吉	7
みえ生物誌, やつと刊行		

No.118 2018年 12月

菅島のエダナナフシ	清水善吉	1
オオタカを恐れないカイツブリの親子	今堀聖史	2
シマヘビとトゲアリの交尾が撮れた	浅名正昌	3
須賀利大池・小池が国の天然記念物に指定されるまでの経緯 (3)	山本和彦	4-5
桜咲いたか	清水善吉	5-6
ウスグモスズと村井俊郎氏	篠木善重	7

No.117 2019年 9月

ダイゼンが見せてくれた砂浜のイモムシ	今堀聖史	1
キボシマメガニと高橋敬三	締次美穂	2
アカギツネの生息	上田利彦	3
熊野灘沿岸の海跡湖の水質	清水善吉	4-5
晩夏 熊野路 滝巡りールーミスジミ採集記確認	河本 実	6-7
既報のヒメイトトンボの誤同定に伴う種名訂正について	富田靖男	7
近所のため池で巨大なドブガイが生息!	上田利彦	8

No.116 2018年 6月

堤防に群生するセイヨウヒキヨモギ	篠木善重	1
クマノザクラのこと	山本和彦	2-3
アリジゴクに寄生するアリジゴクヤドリトガリヒメバチの観察	奥田貞助	4-6
三重県産フナシエダナナフシについて	河北 均	7
オオクビキレガイの初記録及びオカミミガイの確認	中 優・中野 環	8

No.115 2018年 3月

オオタカが棲んでいます	清水善吉	1
ユリクビナガハムシ県内初記録の報告経緯について	上田利彦	2-3
追い込んだ魚を奪い合うウミアイサ	今堀聖史	3
須賀利大池・小池が国の天然記念物に指定されるまでの経緯 (2)	山本和彦	4-5
サイクリングで動物観察 2017	清水善吉	5

冬のカイツブリの食事	上田利彦	5-6
何食べているの？と聞いてみたい	今堀聖史	7
鈴鹿青少年の森公園湿地保全活動の報告		8

No.114 2017年 12月

アサギマダラがわが家を訪れた	今堀聖史	1
ニホンイシガメの孵化について	上田利彦	2
宮川流域でヤワラハチジョウシダとリュウビンタイを発見	宮島美栄	3
大紀町奥河内川上流域におけるゲンジボタルの観察記録	水口道成	4-5
須賀利大池・小池が国の天然記念物に指定されるまでの経緯(1)	山本和彦	6-7
枝のドングリをとる(食べる)オンドリ	今堀聖史	8

No.113 2017年 9月

オオサンショウウオが1年弱で7cmも成長	清水善吉	1
イシガメの求愛行動	清水善吉	2
アオバズクが津のお城公園でヒナを育てた	今堀聖史	3
鈴鹿市にてオオクボシダを確認	松本 功	4
リュウビンタイは松阪でも生育可能～温暖化！？	清水善吉	4
櫛田川のヒサウチソウ	篠木善重	5
わが家の愛犬コウベモグラを捕獲す	上田利彦・上田教子	6
標本データの記録について	中 優	7
三県合同フィールドワークの記録		8

No.112 2017年 6月

わが家もヤモリデビュー	清水善吉	1
タイワンタケクマバチが明和町に	篠木善重	2
チュウシャクシギ、ペリットを吐く	今堀聖史	3
ミシシippアカミミガメの産卵と孵化を観察	篠木善重・締次美穂	4-5
夜間調査の土産写真ーツバメの巣をねぐらにする鳥は？	今堀聖史	6
岐阜県博物館にあった桑名市多度町産カスミサンショウウオ標本	清水善吉	7-8

No.111 2017年 3月

田中川干潟のハマボウ	篠木善重	1-2
今風モズの速贅	浅名正昌	3
バイカモの三重県内再発見	榊田知穂	4
松阪市の庄古墳でキクガシラコウモリを確認	富田靖男	4
冬のカイツブリの食事	上田利彦	5
サカツラガン 三重県初記録！	今堀聖史	6
走った！みつけた！痛めた！	清水善吉	7
ヒメシロハラミズナギドリを三重県初記録	清水善吉	8

No.110 2016年 12月

大敷網で混獲されるハリダシエビス	中野 環	1
ヤマセミ、カワガラス、キセキレイのねぐら	清水善吉	2-3

マイマイカブリ, 熟イチジクを食す	清水善吉	3
ハッチョウトンボの赤化過程について	浅名正昌	4-5
大台ヶ原尾鷲辻のシントウトガリネズミ	清水善吉	6
「シラタマホシクサ 1 m ² 運動」に参加しませんか	清水善吉	7
Letter & E-mail ☆カヤネズミについて	大谷勝治・清水善吉	8
岡與一先生を偲んで	麻生晴子	8

No.109 2016年 9月

コグンカンドリが伊勢湾を周回しています	今堀聖史	1
オオサンショウウオー成長にともなうマイクロチップの移動について	竹澤秀史	2-3
松阪市日丘町八重田池周辺のチョウとトンボ	中西元男	3-4
季節外れの紅葉ーコナラ・常緑樹の紅葉	市川正人	5
イソヒヨドリの巣にイシクラゲが運ばれていた	今堀聖史	6
鈴鹿市新田池の植物	市川正人	7
なばなの里のオニバス	清水善吉	8

No.108 2016年 6月

ハクビシンを最近よく見ます	清水善吉	1-2
キバシリの巣立ち	今堀聖史	3
台高山脈日出ヶ岳一帯の地衣類	葛山博次	4-5
道路標識の支柱から巣立ったヤマガラ	今堀聖史	4
津市久居一色町のニホントカゲについて	上田利彦	6
猫が捕らえた生き物たち	篠木善重	7
八重田池で密漁されたマガモのその後	清水善吉	8

No.107 2016年 3月

九十九里浜のシロチドリが雲出川河口周辺で越冬	今堀聖史	1
今村功氏の遺した双翅目昆虫標本	篠木善重	2
松阪ベルファームで湿地の管理始めましたー協力者を募集しますー	谷口雅仁	3
坂出島に行こう	中西元男	4-5
庭・畑の草抜きはえらいが面白い	市川正人	5-6
鈴鹿青少年の森公園湿地ー天然記念物指定に向けて	清水善吉	7
ミコアイサ 46羽+αが1か所で越冬していた	今堀聖史	8

No.106 2015年 12月

アライグマ, 三重県で拡大中	清水善吉	1-2
アカエリヒレアシシギの採餌	今堀聖史	3
外来種アマゾンチカガミが伊勢市に出現	中 優	4-5
三重県内のヒヨドリバナ類	市川正人	5-6
交尾でオスが見せたメスへの驚くべき動作の新発見ーモノサシトンボー	浅名正昌	7
和歌山県東牟婁郡における蝶等の記録	長谷川好昭・松岡誠治	8

No.105 2015年 9月

水色のニホンアマガエル	浅生康介	1
安濃町で見つかったニホンアマガエルについて	中野 環	2
三重県産ノギクについての知見	市川正人	2-3
道路標識の支柱から巣立ったヤマガラ	今堀聖史	4
羽化後のハッチョウトンボ雄と半成熟雌との連結・交尾を見る	浅名正昌	5-7
三重県大紀町の霧穴(鍾乳洞)からホラアナゴマオカチグサ	柏木健司・吉田勝次・山口ゆかり	
	松下剛士・狩野彰宏	6
御池岳コグルミ谷でシマリスをみる	清水善吉	7
オオサンショウウオ, アオサギに捕食される	清水善吉	8

No.104 2015年 6月

テングも白くなる!	中野 環	1
ビロードキンクロ, クロガモがこの冬は多数観察された	今堀聖史	2
フクジュソウとシコクフクジュソウの形態的差異について	市川正人・山本和彦	3
疥癬によるカモシカの死亡例	清水善吉	4-5
コラム『会員の本 くまの・みち叢書8 熊野古道の獣』	清水善吉・著	5
飯高町木梶と蓮の蝶の記録	長谷川好昭	6
コラム『改訂 レッドデータブック刊行』		6
調査用地形図を印刷する裏ワザ その2	中 優	7
御浜町の茶畑でテングコウモリを確認	清水善吉	8

No.103 2015年 3月

撮影時に深度合成できるデジタルカメラの紹介	中 優	1
はじめまして ヒメウズムシです	山崎真嗣	2
かつて三重県であったノネズミの大発生	佐野 明	3
桑名市でコウガイモを再確認	市川正人	4
高松海岸の開発と双翅目	篠木善重	5-7
八重田池のカモをめぐる話題	清水善吉	8

No.102 2014年 12月

熊野の鳥信-1	中井節二	1
伊賀市馬野川におけるヒダサンショウウオの産卵例	清水善吉・大沼弘一	2
三重県北限のハマボウ	市川正人	3
おかげ横丁で保護されたコシジロウミツバメ	今堀聖史	4
帰ってきたムラサキガイ	中野 環	5
和具大島の植物	山本和彦	6
松阪市伊勢寺町の民家庭へのカモシカ侵入事例とその関連情報	富田靖男	7-8

No.101 2014年 9月

三重で見つけた風景	佐野 明	1
蘚苔・地衣ノート(2) 御在所岳	葛山博次	2-3
鈴鹿山系のジンチョウゲ属3種	市川正人	4
栗谷小屋〜西谷狸峠採集記	中西元男	5-7
写真に見る自然のうつろい-2. 坂出島	清水善吉	7-8

No.100 2014 年 6 月

昨冬から春にかけての珍しい鳥 3 種

ーヤドリギツグミ, バライロムクドリ, オジロビタキ	今堀聖史	1-2
蘚苔・地衣ノート (1) 鈴鹿山脈多志田峡	葛山博次	3-4
旧三重県立博物館に植えられているハマナツメのルーツ	山本和彦	4-5
外国産コマツナギにフタスジヒメハマキが	篠木善重	6-7
三重県初記録のステゴビルとシコクフクジュソウ発見の経緯	市川正人	7-8

No.99 2014 年 3 月

テンは山の動物?ー明和町でテン

干潟固有のアブ	清水善吉	1
「じえじえじえ」のカタツムリ	篠木善重	2-3
事務所で観察した生きもの	中 優	3
ハタベカンガレイの三重県内新産地	清水善吉	4-5
奈良県御所市の用水路でオオサンショウウオ	市川正人	6
	清水善吉	7-8

No.98 2013 年 12 月

オオサンショウウオの体色や模様の多様性を表現したい!

この秋出会った二種の珍鳥	中野 環	1
ー赤色型ホトトギスとオオグンカンドリ	今堀聖史	2-3
初冬のサプライズ		
ーカンムリカイツブリ大群 (数百羽) が滞在	今堀聖史	3
南伊勢町のモリアオガエルの産卵記録	清水善吉	4-5
とり逃がしたガガンボの記録	篠木善重	5
加太川でオオサンショウウオ発見される	清水善吉	6-7
オリジナル・オオサンショウウオグッズ	清水善吉	8

No.97 2013 年 9 月

スイレン鉢に発生した貝

北勢地域におけるススキに類似のイネ科植物	中野 環	1
ヒバカリの『尾の自切』とおぼしき行為について	市川正人	2
勢田川を愉しむ	上田利彦	3
オキナガレガニの標本	佐野 明	4-5
困ったラベルのはなし	篠木善重	5
ー相可高校のオオダイガハラサンショウウオ標本	清水善吉	6-7
松阪市飯高町でオオツバメエダシャクを採集	富田靖男	8

No.96 2013 年 6 月

このアワアワを見かけたら教えてください

国指定天然記念物「多度のイヌナシ自生地」の保全活動報告	清水善吉	1
桑名市五反田丘陵地の植生	葛山博次	2-4
ー三重県 RDB 掲載の絶滅危惧種とその候補種ー	市川正人	5
ミゾゴイ受難	今堀聖史	6-7
調査用地形図を印刷する裏ワザ	中 優	7

三重県津市美杉町で発見されたゲンゴロウ *Cybister japonicus*

谷口真理 8

No.95 2013年 3月

吉兆か？ 蓑亀発見	佐野 明	1
ダイセンミツバツツジらしきものと県内のミツバツツジ類	市川正人	2
ツバメが食べるムシヒキアブ	篠木善重・締次美穂	3
こちらは何系？～タイプいろいろ！イボキサゴの模様～	中野 環	4-5
我が家で見つけたカナヘビのこども	小川隆之	5
はえ縄にかかったオオサンショウウオ	清水善吉	6
出てこい!! トノサマガエル・イモリ・イシガメ	清水善吉・事務局	7
一志町波瀬で再びハクビシン	清水善吉	7
つし自然ガイドブック紹介		

No.94 2012年 11月

津市栗真小川町国道23合沿いでシロマダラ	清水善吉	1
ヒメウズラシギ	今堀聖史	2
三重県におけるオクガタギセルの記録	中 優	3
砂浜で蜘蛛を狩るアカゴシクモバチ	篠木善重	4-5
揖斐川河口汽水湿地の食性	市川正人・山本和彦	
	山脇和也	6
紀宝町の着生ラン科植物と被着生植物について	長谷川好昭	7

No.93 2012年 9月

幸せを呼ぶ黄金のサワガニ	深田峻介	1
阪内川で見つかった黄金のサワガニについて	中野 環	2
スッポンを愉しむ	佐野 明	2
志摩市阿児町で保護されたアホウドリ	佐野 明	3
電子文献の引用について	河北 均	4-5
ツマグロヒョウモンの前蛹化，蛹化，羽化	奥田貞助	6-7
台風の落とし物ーセグロアジサシを保護ー	佐野 明	7
又刈池外来種駆除活動（池ごね）参加記	清水善吉	8

No.92 2012年 6月

経ヶ峰のタニウツギ	山路武夫	1
オオカマキリの産卵・ふ化・卵のう	奥田貞助	2-3
アサギマダラの代用食としてのイヨカズラ	長谷川好昭	3
笠取山麓の哺乳類について	上田利彦・上田辰彦	4
地域自然のこの頃	大谷勝治	5
イブキジャコウソウの三重県での自生地	長谷川好昭	6-7
殻がなくても魅力的！ ～ウミウシのなかま～	中野 環	7

No.91 2012年 3月

写真にみる自然のうつろいー1. 阿坂の里山	清水善吉	1
教訓 庵座の滝のモウセンゴケ	山崎真嗣	2
画像を深度合成できるフリーソフトの紹介	中 優	3

翅の斑紋が美しいミバエ科（双翅目）昆虫	篠木善重	4
今さら聞けないラベルの話	河北 均	6
木曽川下流オオサンショウウオ調査	清水善吉	7
一志層群中にみられる砂岩脈	津村善博	8

No.90 2011年 11月

神島で生きもの学習会	清水善吉	1
三重県のヒトハリザトウムシ	篠木善重	2
ジャコウアゲハ前蛹から蛹化過程における帯糸の懸けかえと尻芸について	奥田貞助	4
神島でアサギマダラをマーキングしてみました	清水善吉・梅村有美	5
野生の動植物はだれのものか	河北 均	6
紀伊長島区大島でミカドアゲハを目撃	長谷川好昭	7

No.89 2011年 8月

宝石のなる木	佐野 明	1
海岸のハマベバエとツマグロイソハナバエ	篠木善重	2
和歌山市の二里ヶ浜に漂着したスクミリンゴガイ	柏木健司	4
三重県庁前のタヌキ	上田利彦	5
三重県のみどりシャミセンガイ	中野 環	6

No.88 2011年 5月

わかば学園周辺で確認した生きもの	清水善吉	1
スクミリンゴガイの生息確認状況（第1報）	中 優	3
ジャコウアゲハ幼虫の妙技	奥田貞助	4
鳥羽市石鏡沖の貝類	中野 環	6

No.87 2011年 3月

モンゴリナラが三重県にも自生	大谷勝治	1
三重県産の直翅目のタイプ標本	川北 均	2
鈴鹿青少年の森湿地は残った	清水善吉	5

No.86 2010年 12月

松阪市阪内川でオオサンショウウオ	清水善吉	1
三重県藤坂峠南方の鍾乳洞近傍で採取した陸産貝類	柏木健司	2
三重県の離島にも生息していた！～微小な陸産貝類～	中野 環	3
三重県のトリウミアカイソモドキについて	締次美穂	4-5
大杉谷で熊に出会う	清水善吉	5
ウマスゲ～新たな生息地の現況～	篠木善重	6
紀伊半島カモシカ個体群の分布の動向	富田靖男	7-8

No.85 2010年 9月

自宅で見つけたニホンヤモリ	中 優	1
ニホンヤモリ～日本守宮～ <i>Gekko japonicus</i>	上田利彦	2
テッポウムシタケは三重県でも発生していた	奥田貞助	3

名張市赤目溪谷の地衣類	葛山博次	4-5
鹿児島までハマナツメを見に行き、わかりかけたこと	山本和彦	6-7
宮川水系大内山川でのボウズハゼ確認の報告	水口道成	8

No.84 2010 年 6 月

四郷池の植物たち	山路武夫	1
ニイニイゼミの終令幼虫がつくる空洞	奥田貞助	2-3
南伊勢町のモリアオガエル	中 優	3
南伊勢町内湾干潟における希少カニ類の確認	上野淳一	4
ハマナツメを求めて一岡山県日生へ	山本和彦	5-6
失敗したクマガイソウの移植	清水善吉	6
東のギリギリス・西のギリギリス	河北 均	7
ハクビシンを津市で確認	清水善吉	8
オオサンショウウオにかまれる	清水善吉	8

No.83 2010 年 3 月

鈴島暖地性植物群落は消えつつある	清水善吉	1
ところ変わればシカ変わる	佐野 明	2
三重県大紀町の阿曽カルストで得られた陸産貝類	柏木健司	3
和具大島の今	清水善吉	4-5
スクミリンゴガイの生息情報	中 優	5
鈴鹿市内へ飛来したカリガネの記録	市川雄二	6-8

No.82 2009 年 12 月

淡水性カメ類の情報提供のお願い	谷口真理	1-2
大淀海岸でオオトリガイ生貝を採集	篠木善重	3
セミのぬけがら	奥田貞助	3-4
川べりにある神社林の大木（雲出川中下流域）	山路武夫	5
素晴らしき自然とのふれあい （三重の自然環境保全地域・員弁大池の開催報告 シリーズ 三重の火成岩 1 - 花崗岩 -	大矢正雄 津村善博	5-6 7

No.81 2009 年 9 月

鳴きながら飛ぶコウモリを見かけませんか？	佐野 明	1
どうやって来たの？エスカルゴちゃん ーエスカルゴを我が家の畑で確認ー	宮本佳典	2
活断層を知る	津村善博	3-4
お便り	前川和則	4
HP を利用した 3 次メッシュコードの調べ方	中 優	5
八重咲き山桜のたよりートウインヤエヤマザクラ	大谷勝治	6
三重の新しい博物館の整備を進めています！	小川隆之	7
返信	清水善吉	8

No.80 2009 年 5 月

押の池のネィチャーサイン	清水善吉	1
和歌山県潮岬の海浜砂に含まれる熱帯性有孔虫殻	柏木健司	2
ある日の熊野・大前池周辺で・・・	鈴木 賢	3

三重県最大のカツムリ	中 優	4
鈴鹿川流域の注目すべき甲虫	生川展行	5
紀宝町を流れる井田川での淡水性カメ類の捕獲記録	谷口真理	6
青山高原の風車は適法なのか？	清水善吉	7-8

No.79 2009 年 2 月

カモシカはすべらない	清水善吉	1
伊勢湾にバイは生息する！	中野 環	2-3
南伊勢町でムカゴサイシンを確認	松本 功	3
シリーズ 岩石の分類-火成岩-	津村善博	4-5
犯人は誰だ！？ハンボソガラスの意外な行動	田村香里	6
津市一志町の用水路で捕獲したカネヒラの記録	今村隆一	6
オオダイガハラサンショウウオの新産地と御在所岳での調査結果	清水善吉	7-8

No.78 2008 年 11 月

ウチワサボテンの駆除作業	山路武夫	1
三重県の浜は・・・	中野 環	2
外来種コモチカワツボが三重県でも広がりを見せている？	中野 環	3
ニホンジカによるスギ・ヒノキの樹皮剥ぎ	佐野 明	4
御浜町を流れる志原川での淡水性カメ類の捕獲記録	谷口真理	5
オオダイガハラサンショウウオ(幼生)はあついのがお嫌い？	清水善吉	6-7

No.77 2008 年 8 月

子実体が分岐したオオセミタケと松阪 2 号ヤンマタケ	奥田貞助	1
私のフィールドノートから～三重県内におけるハマナツメの分布	山本和彦	2-5
ノハナショウブにつく虫	中野 環	5
シリーズ 岩石の分類	津村善博	6
圃場整備予定地にデンジソウが生育	山路武夫	7
三重の新しい県立博物館について ～現在の状況と今後への期待～	田村香里	7-8

No.76 2008 年 5 月

ウミガメ公園においで下さい	谷口真理	1
温暖化に伴って北上する可能性のある直翅目昆虫	河北 均	2
「三重貝仲間」県内調査記録 2007	中野 環・中 優	3
伊勢湾でハマスナホリガニを発見	締次美穂	4
カワヒバリガイの確認報告	中 優	5
御浜町でウズラを確認	中井節二	5
カエルツボカビ調査について	上田利彦	6-7
ハクビシンを尾鷲市で確認	清水善吉	7

No.75 2008 年 2 月

鈴鹿市にて、レンカク夏羽を観察・撮影	多田弘一	1
松阪市曾原町におけるセイタカシギの観察記録	大矢正雄	2-4
マーキングされたアサギマダラを捕まえる	中 優	4
夏の贈り物 ～オオシノミガイの打上～	中野 環	5
「三重貝仲間」県外調査記録 2007	中 優・中野 環	6-7
セミナー「レッドデータブックの活用状況と今後の課題」の報告	宮本義則	7-8

No.74 2007年10月

飯高町で火成岩岩脈みつける	津村善博	1
2006年～2007年に新種記載された三重県の甲虫類	生川展之	2-3
東海層群でゾウの足跡化石などがみつける	津村善博	3
鈴鹿市小岐須溪谷の石灰岩	津村善博	4-5
偕楽公園のアオバズク	田村香里	5
県立博物館の閉館に思う	清水善吉	6-7
阿漕浦海岸に大量の魚貝類の死骸を確認	今村隆一	7

No.73 2007年8月

大津波の痕跡を求めて大池へ	山本和彦	1
放棄水田は宝の山	中 優	2-3
特別天然記念物カモシカの現状	村岡一幸	4-5
豊かな自然の中の熊野古道センター	花尻 薫	5-6
春の伊勢湾のマアナゴ幼生	帝釈 元	7-8

No.72 2007年6月

カノコソウの発見	山路武夫	1
2006年度池干しによる外来魚駆除作業を終えて	石田 洋	2-4
三重県におけるワカウラツボの新たな産地	中野 環	4-5
ムクドリがやってきた	中 優	6-7
久居西鷹跡町でシロマダラ	森脇武文	

No.71 2007年3月

ヒキガエルの狂い産み	富田靖男・福永幸司・福永久子	1
田中川干潟のハクセンシオマネキの記録	締次美穂	2-5
三重県産野生植物目録作成に向けて	事務局	6-7

No.70 2006年11月

天然記念物無残	清水善吉	1
熊野灘流入河川における希少甲殻類の確認	上野淳一	2-3
マゴコロガイを田中川干潟で発見	締次美穂	3
ヤスデの大量発生	上田利彦	4
鈴島に上陸したニホンジカについて	清水善吉・山本和彦	5-6
志摩市和具大島におけるアツバキミガヨランの駆除	半田俊彦	7-8

No.69 2006年9月

鈴島にシカ上陸	清水善吉	1
丸子池の植物	山本和彦	2-3
田中川干潟におけるハマボウの記録	締次美穂	3

耳穴島の植物	山本和彦	4-5
オオルリが家に巣をしました	村岡正貴・前田仁暉	5

No.68 2006 年 6 月

耳穴島	清水善吉	1
耳穴島のクモ	塩崎哲哉	2-3
耳穴島の陸産貝類	中野 環・中 勝	3
刺網にかかったウミウシ	中野 環	4
三重県における「ノミガイ」の初記録	中 優	5
ケブカツルカコソウ	山路武夫	5
野菜などの流通にともなって移動する昆虫たち	中 優	6

No.67 2006 年 4 月

成長する石	松本 功	1
四日市におけるハクセンシオマネキの記録	締次美穂	2-3
伊勢市No.60 2004 年 5 月		
外城田川河口護岸工事について	上野淳一	4-5
三重県初の球状花崗岩について	津村善博	6
松阪市四郷池の植物	山路武夫	7-8

No.66 2005 年 12 月

湧き水の赤い石	松本 功	1
志摩市磯部町の汽水域における水草および貝類の記録	中 優	2-3
カラシラサギの記録	市川雄二	3
クリイロカメガイ、大量漂着	中野 環	4
「鈴鹿市の自然調査」事業について	柴原洋一	5
三重県水産試験場川越分場によるジンダイドジョウの研究	中西尚文	6-7
尾鷲市でケアシノスリを記録	谷口真理	8

No.65 2005 年 9 月

初秋にホタル?	山際香里	1
三重県尾鷲市賀田湾の貝類	中野 環	2
県内の沿岸域における南方系蟹類の北上について	上野淳一	3-4
三重県レッドリスト番外編 6		
コオイムシ <i>Diplonychus japonicus</i>		
昆虫綱 カメムシ目 コオイムシ科	小川隆之	4
三重県レッドリスト番外編 7		
モリアオガエル <i>Rhacophorus arboreus</i> (Okada et Kawano, 1924)		
両生綱 無尾目 アオガエル科	富田靖男	5-6
しぜん文化祭 2005 体験記 三重県立四日市四郷高等学校	裏生物部	6-7

No.64 2005 年 6 月

レッドリスト番外動植物	清水善吉	1
ショウジョウバカマ <i>Heloniopsis orientalis</i> (Thunb.) C.Tanaka		

ユリ科	山本和彦	2
ムシバミコガネグモ <i>Argiope aetheroides</i>		
クモ目 コガネグモ科	塩崎哲哉	2
ケハダビロウドマイマイ <i>Nipponochloritis fragilis</i>		
柄眼目 ナンバンマイマイ科		
ヒメビロウドマイマイ <i>Nipponochloritis perpunctatus</i>		
柄眼目 ナンバンマイマイ科	中野 環	3
ニホンアナグマ <i>Meles meles anakuma</i>		
食肉目 イタチ科	富田靖男	4
シロマダラの確認報告	上田利彦	5
身近な昆虫類の地域古称の聴き取り調査	桜井好基	6

No.63 2005 年 3 月

イヌナシの花を見に行きませんか	清水善吉	1
近年、「三重県産哺乳類」の仲間入りをしたコウモリ類 3 種	佐野 明	2-3
奈良県室生村でツキノワグマの糞	清水善吉	3
カイセン症のタヌキ	山際香里	4
小さな巻貝 ～カハタレカワザンショウ～	中野 環	5
三重県のハクビシンの記録	清水善吉	5-6
博物館勉強会の報告	事務局	7

No.62 2004 年 11 月

宮川村における台風 2 1 号災害報告	大西かおり	1-3
台風 2 1 号で被災した大杉谷の視察	武田明正	3-4
宮川村の災害地を見る	北村治郎	4-5
オニバス 再発見の経緯	村井俊郎	6
今年の松名瀬海岸レポート	木原寿代	7-8

No.61 2004 年 8 月

和具大島の浜木綿を食べるウスカワマイマイ	清水善吉	1
和具大島の鳥類、特にウチヤマセンニュウについて	市川雄二・中村みつ子	2-3
和具大島の地形・地質	北村治郎	4
「和具大島の暖地性砂防植物群落調査」フィールドノート	武田明正	5
多度町のカスミサンショウウオ	清水善吉	6-7
Letter 調べよう希少生物(動物編)について	堤 祥雄	7
海山町のカワネズミ	乙部 宏	8

No.60 2004 年 5 月

久居市でもツキノワグマ生き返った博物館標本	清水善吉	1
5 月のハエはカゲロウ?	小川隆之	2-3
環境省の絶滅危惧種(CR 種)の調査にご協力ください	藤井伸二	4-6
小岐須溪谷(鈴鹿市)で熊と遭遇したこと	清水善吉	7
ハヤブサ、津丸之内に出現	清水善吉	7

No.59 2004 年 2 月

高見山地でのツキノワグマ繁殖事例	清水善吉	1
カワバタモロコの確認記録	中 優	2
神島にメダカが生息	今西塩一	3-4
「泉の森」の湧水について	山路武夫	4-5
宮川水系の水質について	中 優	6
室生山地でのオオダイガハラサンショウウオ	清水善吉	7

No.58 2003 年 10 月

ジョロウグモ	塩崎哲哉	1
ガラスに激突死?ヤイロチョウとの悲しい出会い	鈴木 賢	2-3
町中で発生したオオゼミタケ	奥田貞助	3
ウミウチワのこと	津村みち	4
タカサゴユリの駆除運動	花尻 薫	5
紀南地方の蝶類数種の衰勢ーきわめて感覚的なもの	山口和洋	6

No.57 2003 年 7 月

オオアカウキクサがありました	山路武夫	1
初夏の道路法面を彩るオオキンケイギク	佐野 明	2
飯高町蓮でツキノワグマの痕跡	清水建夫・市川正人	2
ウミケムシとヒダビル	中野 環	3
松名瀬海岸に迷鳥コグンカンドリ飛来	市川雄二	4
淡水エビを調べて	岡 由佳理	5
希種から普通種へーヒロバネカンタンー	河北 均	6-7

No.56 2003 年 5 月

大島(紀伊長島町)へ渡る	山本和彦	1
タンポポ雑記 雑種のはなし		
ー外来タンポポとニホンタンポポー	佐野順子	2-3
紀伊大島の昆虫	天満智憲	3-4
ショウジョウバカマ・シロバナショウジョウバカマ	山路武夫	5
ショウジョウケノリのこと	津村みち	6
このオオサンショウウオはどこから流れ着いたのか	清水善吉	7-8

No.55 2003 年 2 月

御在所岳にアナグマ	山野直也	1
御在所岳のアカトンボーマーキングと「ふる里」さがしー	市橋 甫	2-3
オオウスバカゲロウの飼育と羽化	奥田貞助	3-5
キヌイトグサのこと	津村みち	6
ニホンザルの群れの探索	戎谷秀雄	7

No.54 2002 年 11 月

マークのついたアサギマダラ	清水善吉	1
ジョロウグモの交接	奥田貞助	2-3
スギの幹断面にあらわれた「星型」変色	佐野 明	3
関町で2度も発見されたオオサンショウウオ	清水善吉	4-5

白塚海岸の海藻　ーオゴノリのことー	津村みち	6
No.53　2002 年 8 月		
伊賀地方のロードキルの実態	梅村有美	1－2
イワカガミ？それともオオイワカガミ？	山路武夫	2－4
三重県内でよく見られるようになったラミーカミキリ	今村隆一	4
どんぐりを食べる虫たち	福本浩士	5
松名瀬海岸の海藻　ーイソハギのことー	津村みち	6
お便り質問コーナー	(回答)河北　均	7
No.52　2002 年 5 月		
ホテルのみわけ方	小川隆之	1
ホテルを調べよう	小川隆之	2
コガネグモを探そう	塩崎哲哉	3－4
三重県におけるニホンリス <i>Sciurus lis</i> の確認記録	佐野　明	4
サワガニの体色の違い	上野淳一	5
伊勢市東大淀町にもスクミリンゴガイが	中野　環	6
No.51　2002 年 2 月		
バフンウニの産卵	小川隆之	1
百々川に湧水（泉）がありました	山路武夫	2
無葉の蘭　ームヨウランー	松本　功	3
ヤンマタケ	奥田貞助	4
カワエビとヌマエビ	小川隆之	5－6
県境付近のツキノワグマの目撃記録	乙部　宏	6
新県立博物館整備の動向	事務局	7
No.50　2001 年 11 月		
秋によくみられるウラナミシジミ	今村隆一	1
海浜のバッターヤマトマダラバッタ	河北　均	2
キヌガサタケでしょうか	長尾伸二郎	3
答志島調査紀行	河北　均	4－5
第 1 回博物館勉強会　三重県出前トーク「博物館てなにしているの」講演録概要	事務局	6－9
No.49　2001 年 8 月		
クマガイソウ移植大作戦	清水善吉	1
白米城にもカワラナデシコが	山路武夫	2
石垣池の野鳥	市川雄二	3
宮川親水公園護岸工事	上野淳一	4－5
松阪の干潟にすむ貝類	中野　環	5－6
芦浜池調査会～リレールボ	山路武夫	7－8
No.48　2001 年 5 月		
早春の河畔林を彩るユキワリイチゲ	佐野順子	1

落ち葉の下の昆虫（甲虫類）	市橋 甫	3-4
コノハナザクラが三重県に	葛山博次	4-5
木になった実	天野美保子	6
松阪市のため池における水草相	中 優	7

No.47 2001 年 1 月

へび類の食餌メニューについて	富田靖男	1-2
ため池に生息する淡水貝類 2 種	中野 環	3
丸子池, その後	清水善吉	4
博物館の里山生態観察園づくり	松尾浩志	5
里山見てある記 ー植物編ー	佐野順子	6-7

No.46 2000 年 11 月

秋の海跡湖巡り	山本和彦	1
蝶の飼育に思うこと	天満智憲	2
シバナが松阪にも生えています	山路武夫	3
鈴島にもシバナが生えていました	山本和彦	4
「ヒツジグサ」が消えた！	中 優	5
熊野川の魚二題	清水善吉	6
おおっ！わが家の前にシロマダラ	佐野 明	7

No.45 2000 年 7 月

こんなところに『ミクリ』が！	山路武夫	1-2
どうなる日本の川魚ーブラックバス問題を考える	田上 至	3
カエル界のちゃっかりものー鳴かないオス・サテライトー	梅村有美	4
海浜の植物たち	大矢正雄	5-6
「デジタル化」のすすめ	中 優	6

No.44 2000 年 4 月

戦争遺跡とコウモリ	佐野 明	1
タケノコなのか？	村岡一幸	2
レッドデータブックづくりにあなたも参加しませんか	事務局	3
三重自然誌の会行事等に関するアンケートの結果	事務局	4-5

No.43 2000 年 2 月

鈴鹿市の海岸に初めてコクガンが飛来	市川雄二	1
伊勢湾沿岸, 最近の鳥類状況	市川雄二	2-3
遺跡って面白い	森 勇一	4-5
「MEC ビオトープ」について	中 優	6

No.42 1999 年 11 月

イグアノ ドン足跡化石発見	津村善博	1
藤原町本郷でアブラコウモリを確認	寺西敏夫	2
川原の石は語る	津村善博	3
健気に咲くヒゴスミレ	森脇武文	4
博物館資料（標本）のレンタル開始	三重県立博物館	6

No.41 1999 年 7 月

ユビナガコウモリの越冬群塊

佐野 明

1

イッカククモガニ

富田靖男

2

里山へ行こうよ

山田美香

3

Q&A ウツギノヒメハナバチ

(回答)松浦 誠

5

タンポポ雑記 クリーム色のタンポポ発見

佐野順子

7-8

No.40 1999 年 5 月

須賀利大池でアマナ発見

山本和彦

1

天啓がなくなった

村岡一幸

2

ナゲナワグモ

塩崎哲哉

3

シデコブシの花咲く湿地にて, その2

後藤稔治

4-7

こぼれ話 蓮台寺柿とアオマツムシ

森脇武久

7-8

No.39 1999 年 1 月

ハクセンシオマネキは残った — 松名瀬海岸

清水善吉

1

帰化動物ヌートリアに関する情報を教えてください。

佐野 明

2-3

これはでっかい!! シーボルトミミズ

森脇武文

4

自然誌博物館—私どもはこのように考えています

三重自然誌の会運営委員会事務局

5-8

No.38 1998 年 10 月

パラオ諸島の植生紀行

武田明正

1-2

パラオの哺乳・爬虫類・両生類概観

富田靖男

3-4

赤道の下に浮かぶミクロネシアの島—パラオの自然と人々—

市橋 甫

5-7

No.37 1998 年 7 月

大陸移動は生物の進化に影響をあたえる

津村善博

1

外国からのインベーターたち⑬ スクミリングガイ

富田靖男

2-3

昆虫化石が語る地球異変の記録

森 勇一

4-5

アブラコウモリ追い出し作戦

福田 勝

6-7

海山町船越海岸の海藻

津村みち

8

Q&A 糸状菌に寄生されたヤマトフキバツタ

(回答)河北 均

10

No.36 1998 年 5 月

船越池ハマナツメ群落のその後

山本和彦

1

ムロウテンナンショウも発熱する?

村岡一幸

2

海山町におけるメダカの生息状況と外来魚の侵入について

田上 至

3

松阪市森林公園調整池のトンボたち

刀根定良

4

トガサワラの保護林を訪ねて

七見憲一

5-6

魅惑のカミキリムシ

天満智憲

7

Q&A マメシジミ属について

(回答)安部 茂

8

No.35 1998年2月

骨身も凍る冬のオオサンショウウオ調査	清水善吉	1
三重の化石シリーズ⑪ 珪化木	津村善博	2
ハンターの行動観察	清水善吉	3
昆虫探索シリーズ④ ヤクシマルリシジミ幼虫を探そう	後藤 勇	4
松名瀬海岸干潟ウォッチング	大原寿代	5
白いカラスを見つけた	市川雄二	6
自然誌博物館建設の要望書を提出	事務局	8-9

No.34 1997年11月

鳴く虫の響き	村井俊郎	1
デンドロロジイ入門(6) イチョウの葉脈(ようみゃく)	武田明正	2
ゴマダラカミキリのボーベリア菌	森脇武文	3
ギンヤンマの思い出	刀根定良	4
三重の化石シリーズ⑪ メタセコイアの化石	津村善博	5
安楽島で観察した海藻	津村みち	6
Q&A ジムグリ	(回答)富田靖男	7

No.33 1997年8月

リアス(式)海岸	津村善博	1
外国からのインベーターたち⑫ アメリカザリガニ	富田靖男	2
三重の化石シリーズ⑩ ウミユリ	津村善博	3
オオサンショウウオの恋の季節	清水善吉	4
最近のトピックス 火星上の岩石は地球上の安山岩とよく似ている	津村善博	5

No.32 1997年5月

レッドデータブックに思う	山本和彦	1
ハマボウの苗 海を渡る	川口祐二	2-3
三重県で「温室植物」発見?	村岡一幸	4
アブラコウモリ・アンケート調査へのご協力のお礼と結果報告 佐野順子		5-6
Q&A コシアキトンボ	(回答)刀根定良	7

No.31 1997年2月

テトラの海	清水善吉	1
三重の化石シリーズ⑨ 二枚貝の化石	津村善博	2
ツクツクボウシタケ	奥田貞助	3
外国からのインベーターたち⑪ ウシガエル	富田靖男	4-5
Q&A ハラクロコモリグモ	(回答)貝発憲治	5
山に上がるアカトンボ アキアカネのふる里さがし	市橋 甫	6-7
船越池ハマナツメ群落の保護を求める署名に二万余名	山本和彦	8

No.30 1996年11月

三重県にも恐竜がいた!!	清水善吉	1
--------------	------	---

年輪からみたマツ林の変遷	山本和彦	2-3
三重の化石シリーズ⑧ マツの球果（マツカサ）の化石	津村善博	3
サナギタケ	奥田貞助	4
電子顕微鏡で見る自然のしくみ① ひつつきむしはどうしてひつつくの	小川隆之	5-6
～おたより～ ゴマダラチョウの成虫	森脇武文	6

No.29 1996 年 7 月

活断層と地震	津村善博	1
朝明溪谷で見られた水生昆虫類	小川隆之	2
オオキンカメムシのマーク個体発見にご協力を	花尻 薫	3
三重の化石シリーズ⑦ タニシの化石	津村善博	4
クモタケ	奥田貞助	5
Q&A スズバチ	(回答)松浦 誠	6
神島でインガケチョウ目撃	山口三枝	6

No.28 1996 年 4 月

マツ林造りを試みて!?	山本和彦	1
ムロウテンナンショウ	村岡一幸	2-3
セミタケ	奥田貞助	3-4
三重の化石シリーズ⑥ シダ植物化石	津村善博	5
Q&A マツバラシ	(回答)中馬千鶴	6
ゴマダラチョウ幼虫	(回答)後藤 勇	6
三重自然誌 2 号の訂正	事務局	9

No.27 1996 年 2 月

ムー子	清水善吉	1
外国からのインベーターたち⑩ ミシシッピーアカミミガメ	富田靖男	2
三重の化石シリーズ⑤ ツノガイ	津村善博	3
日なたと日陰どちらの葉が大きい?	小川隆之	4
オオタカ保護シンポジウムに参加して	市川雄二	5

No.26 1995 年 10 月

北へ分布を拡大する オオキンカメムシ	市橋 甫	1
ハマボウの枝の伸びを調べて	山本和彦	2-3
自然史学会連合設立記念シンポジウムを聞いて	小川隆之	3
昆虫探索シリーズ③ インベーター アオマツムシ	後藤 勇	4
三重の化石シリーズ④ アンモナイト	津村善博	5
チョウの羽の鱗粉転写	小川隆之	6
博物館だより 大山田湖の化石展	事務局	7

No.25 1995 年 8 月

虹色に輝くヤマトタマムシ	今村隆一	1
外国からのインベーターたち⑨ ヒロハホウキギク	加田勝敏	2
三重の化石シリーズ③ ゴカイ (?) の棲管化石	津村善博	3-4
神島の観察会で観察した海藻	津村みち	5

No.24 1995 年 5 月

アカマツの年輪を数えて	山本和彦	1
三重の化石シリーズ② カキの化石	津村善博	2
イヌガラシの蜜をとってみました	村岡一幸	3-4
洞くつの生きものたち	松本 功	5
ハルゼミの鳴き声を聞きますか	後藤 勇	6

No.23 1995 年 1 月

ワニの足跡化石	清水善吉	1
緊急レポート 菰野町のヒメヒカゲについて	木村裕之	2
三重の化石シリーズ① ウニの化石	津村善博	3
淡水エビ ～津市内 3 河川の分布を中心に～	小川隆之	4-5
オオサンショウウオのおひっこし	清水善吉	6
昆虫探索シリーズ① 冬のモンシロチョウはいずこに お便り	後藤 勇 刀根定良	7-8 8

No.22 1994 年 11 月

足跡化石の発掘	清水善吉	1
ホソノミナガクチキ	生川展行	2
モグラのショック死	久保田耕平	3
自然観察会でこんなものを拾ったー 3	森脇武文	4
ハッチョウトンボをつかまえた	金沢尚子	8

No.21 1994 年 7 月

くいちがい石	津村善博	1
外国からのインベーダーたち (8) コゴメバオトギリ	加田勝敏	2
海藻雑記ー「ヒヨクソウ」のこと	津村みち	3-4
滝	北村治郎	5-6
志摩の自然ー大王町船越池周辺の観察会 トンボの観察	刀根定良	8

No.20 1994 年 4 月

船越池が危ない!	山本和彦	1
デンドロロジイ入門 (5) 緑の炎を吹く子鬼たち	武田明正	2
春の常緑広葉樹林	山本和彦	3
野生のアブラナ科植物とモンシロチョウ	村岡一幸	4-5

No.19 1994 年 1 月

オサムシ類の分化	久保田耕平	1
外国からのインベーダーたち (6) キンバイタウコギ	加田勝敏	2
セミの話	久保田耕平	3-4
多度町みがき砂跡坑のコウモリ	寺西敏夫	5-6

No.18 1993 年 11 月

モリアオガエルの卵を食べるイモリ	清水善吉	1
------------------	------	---

外国からのインベーターたち（５）ヌートリア	富田靖男	2
デンドロロジイ入門（４）葉のいろいろ	武田明正	3
観察会の記録・昆虫	久保田耕平	4
観察会の記録・鳥	市川雄二	5
自然観察会に参加して～多度町 こんなものを拾った	森脇武文	5
秋の多度峡を歩く	鈴木伸一郎	6

No.17 1993 年 7 月

地層がずれる 一断層―	津村善博	1
デンドロロジイ入門（３）葉序のいろいろ	武田明正	2
外国からのインベーターたち（４）帰化植物セイヨウヒルガオ	加田勝敏	3
オオタカ、巣を放棄する	清水善吉	4
少年時代の思い出	大西謙二	5
お便り 紀州路の自然の中で	滝尻由美子	6
お便り 家の近くでの鳥の観察をして	水口道成	6－7
質問に答えて	市川雄二	7
お便りと記録 青峰山での観察会の記録（トンボ相）	刀根定良	8

No.16 1993 年 4 月

春の日、年輪を数えてみました	山本和彦	1
デンドロロジイ入門 ツツジのいろいろ	武田明正	2
シデコブシの花咲く湿地にて	後藤稔治	3－5
新しく創刊する会誌の編集方針と投稿規定		8
三重自然誌の会 会則		10－11

No.15 1993 年 1 月

オオタカは襲ったヤマドリをどう食べるか	清水善吉	1
デンドロロジイ入門（１）カヤノキのいろいろ	武田明正	2
外国からのインベーターたち（３）チョウセンイタチ	富田靖男	3
青山町下川原のチョウ	後藤 勇	4
天然記念物として残したい郷土の自然(3)		
海山町船越池および尾鷲市須賀利大池のハマナツメ群落	山本和彦	5－6
死体に口あり	清水善吉	7
Q&A キボシアシナガバチ	(回答)松浦 誠	7
第 15 回自然観察会「伊賀の里山を訪ねて」の記録	事務局	10

No.14 1992 年 10 月

ホソアシナガバチの集団越冬	久保田耕平	1
再び標本作成のための採集の是非について	武田明正	2
植物の和名の難しさ	加田勝敏	2
化石採集の楽しさ	鈴木繁美	6

No.13 1992 年 7 月

岩石の風化「たまねぎ状構造」	津村善博	1
外国からのインベーターたち（２）ヒメマツバボタン	加田勝敏	2

巣箱掛けから　ー愛鳥週間にあたってー	高橋松人	4ー5
新しく創刊する会誌の編集方針と投稿規定		7

No.12　1992 年 4 月

水辺の植物に思う	山本和彦	1
庭のタヌキと環境問題	清水善吉	2
笛にひかれて	七見憲一	3ー4
草花との出会い	山本浩子	5

No.11　1992 年 1 月

大台が原のシカとヒト	清水善吉	1
高見山地で唯一のツキノワグマ捕獲記録	清水善吉	2
三重県哺乳類情報ー4	木下壽郎	3
三重県哺乳類情報ー5	水口弘子	3ー4
三重県から記録したウラミスジシジミ	今村　功	5
蜂が木に描く“★（星）”模様	佐野　明	6
モグラを集めています	清水善吉	6ー7
お便り	水口弘子	7

No.10　1991 年 10 月

オサムシの異種間交尾		1
オサムシの雑種	久保田耕平	2
天然記念物として残したい郷土の自然（2）		
ー大宮町阿曽の噴湯丘ー	磯部　克	3
ネコギギがいたよ	水口道成	4
お便り	宮崎りせ子	4ー5

No.9　1991 年 7 月

珍石“サンドボール(豆石)”	津村善博	1
天然記念物として残したい郷土の自然(1)ー小岐須溪谷の輝緑岩脈ー		
	磯部　克	2
久居市の鳥“オオタカ”に決まる！	高橋松人	3

No.8　1991 年 4 月

船越池にも春がきた	山本和彦	1
ハマダイコンとダイコンの関係	村岡一幸	2
熊野の春	花尻　薫	3
雲出川のゲンジボタルの分布	小川孝之	3ー5
三重県哺乳類情報ー3	水口弘子	5

No.7　1991 年 1 月

オオタカの巣がついに倒れた！	清水善吉	1
台風被害の覚書	山本和彦	2ー4
タカの渡り	市川雄二	4
アサギマダラの移動について	後藤　勇	5

三重県哺乳類情報—2	清水善吉	6
「自然誌」を読むために—動植物の採集について	武田明正	9—10
No.6 1990年10月		
県立博物館で「帰化植物展」—交通文明の落とし子たち—		1
ハギ（草本類：マメ科）	中馬千鶴	2—3
多気町相鹿上神社の森で青葉木菟（アオバズク）が子育て	宮崎りせ子	3
お便り—1	宮崎りせ子	4
お便り—2	刀根政郎	4
三重県哺乳類情報—1	清水善吉	5—6
ハマオモトヨトウの分布拡大	間野隆裕	7
おわせしぜん	森はるか	11
No.5 1990年7月		
家城ラインの甌穴	北村治郎	1
三重の自然誌 自然保護対自然保護 大台ヶ原のトウヒ林をめぐって	武田明正	2—3
アミメカゲロウ —大発生の情報提供を!!	小川隆之	3
淡水魚の放流と問題点—小岐須にイワナがいた!?	清水義孝	8—9
No.4 1990年4月		
県鳥 シロチドリ	市川雄二	1
三重の自然誌 ハマボウの群生地	刀根政郎	2
動物の交通事故	清水善吉	3
No.3 1990年1月		
ステゴドン・エレファントイデス象の化石	津村善博	1
三重の自然誌（3） アサマリンドウ	中馬千鶴	2
ネコギギ	清水義孝	2—3
三重県産の珍しいコケ植物〔1〕 ヤクシマアミバゴケ	山田耕作	3
No.2 1989年10月		
イセギク	武田明正	1
三重の自然誌（2） モンシロチョウ	後藤 勇	1—2
外国からのインベーダーたち① メリケンムグラ	加田勝敏	2
No.1 1989年7月		
「おしゃべり」の輪をひろげよう	武田明正	1
三重の自然誌（1） ツルコウジ	葛山博次	2
ツキノワグマ	富田靖男	2
サークル紹介		3
情報コーナー		4—6
観察会に参加して		7
事務局から		7—8

※以降の「サークル紹介、情報コーナー、観察会に参加して、事務局から」は一部を除いてこの目次か

ら省略します。